

就活体験記

法学部法律学科4年

小幡ゼミナール所属

児玉琉稀

私は、株式会社北洋銀行から内定をいただき、2025年4月から行員として務めることになりました。僭越ながらここでは、就職活動にあたって役に立った事やさらにしてあげばよかったことなどを踏まえつつ過程を記します。

私は、3年次の5月から就職活動を始めました。就職活動を始める前は、やりたいと思うものもなくただ安定しているという理由のみで地方公務員を志望していましたが、そのような理由で自分の人生の大きな決定である就職先を決めていいものかと考え、友人と合同企業説明会に参加しました。そこで、多種多様な企業の説明を聞き、自分の働くということに関する知識がどれだけ不足しているかを痛感しました。この合同企業説明会への参加を経て民間企業への興味がわき、公務員だけでなく民間企業についても調べてみようと考えました。そこで、前記した合同企業説明会で興味を持ったアイリスオーヤマと、以前から金融業界にも興味を持っていたので、学校の紹介で札幌中央信用組合へのインターンシップに参加することを決めました。

この2つのインターンシップでは、どちらもお客様に寄り添うことを念頭に活動されていました。また、実際にインターンシップに参加することで、消費者目線では得ることのできない気づきや自身が働くうえでのイメージをつかむことができ、やりたいことがだんだんと見えてきました。なので、将来やりたいことが見つからず働く際のイメージがつかめていない時は、積極的にインターンシップに参加してみるとよいかもしれません。自分自身これを機に多くのインターンシップへ参加することを決定しました。

私は、8社（アイリスオーヤマ、北海道銀行、北洋銀行、ニトリ、北ガス、北ガスフレアスト、セコマ、札幌中央信用組合）のインターンシップに参加しました。その中でも特に印象的だったものは、アイリスオーヤマと北洋銀行のインターンシップです。今回はその2社について記します。

アイリスオーヤマは仙台での開催で、マーケティングについてご教示いただきました。2日開催が1回、1日開催が2回ありました。どの回も前半は企業説明をうけ、後半はグループワークという構成でした。グループワークでは、1グループ7名ほどで消費者の不平不満を取り除くために、生産された製品のどこにそのような工夫がされているのかを考えるという活動でした。初めてのグループワークということもありましたが、居酒屋のアルバイトで身につけたコミュニケーション能力を生かし、グループのリーダーを務めました。その日初めて顔を合わせたメンバーということもあり、発言がしづらい雰囲気でしたのでアイスブレイクを大切に議論しました。しかし、話しやすい雰囲気が出来上がると多くの意見をまとめることが困難になってくるので書記やタイムキーパーを役割し、発言の順番を決める

工夫をして議論を円滑に進められたと 생각합니다。この経験が以後のインターンシップに生きたと 思います。

次に北洋銀行では、回数は 20 回以上にも及び対面型とオンライン両方の開催でした。1 回が 30 分～6 時間程度の開催で企業説明やグループでの行員体験、各部の紹介など細部まで説明があり、インターンシップを受けていた企業の中で最も企業への理解が深まりました。その中でも、先輩行員や前年度の内定者の方から直接お話を伺える機会もあり、NG なしとのことでしたので給与や休暇や支店の雰囲気や支店を直接聞くことができました。ここで、私が生まれて今まで生活してきた大好きな北海道への様々な角度からの支援や、直接人と話すことが多いこと、給与や休暇制度の充実を理解し第一志望の企業となりました。この時には、安定している公務員ではなく自分自身のやりたいことができ、強みを生かせる民間企業を受ける決意は固まっていました。

第一志望の企業が決まったとはいえ、人気企業へ挑戦するという事なので上記したインターンシップへ参加した企業はすべて選考を受けようと考えました。最初に選考を受けた企業はアイリスオーヤマのインターンシップ参加者限定の早期選考でした。3 年次 10 月中旬から始まり、①エントリーシート②録画面接③SPI・適性診断④個人面接⑤最終面接でしたが、エントリーシートの内容やインターンシップでの取り組みを踏まえ②録画面接を短縮していただきました。早期選考を受けられることやこのようなこともインターンシップ参加のメリットであると考えます。④個人面接を 12 月頭に受けましたが不合格、いわゆるお祈りメールをいただいていたしまいました。この時初めて就職活動での挫折を味わい最もつらい時期はこの時であったと考えます。ここで折れてしまう可能性もありましたが、ひたすら自分をレベルアップさせるような感覚で情報収集やアルバイトに励み、キャリア支援課の担当の方やアルバイト先の店長、就活団体の先輩、友人などと話し、どのような改善点があり逆に自身は他人から見るとどのような強み弱みがあるのかなどを洗い出しエントリーシートを見直しました。このように就職活動に取り組むと、生活にメリハリが出てきて就職活動に対していやだという気持ちがなくなり逆に楽しいという感情が出てきました。挫折しそうなときは積極的に周りを頼るとよいかもかもしれません

その後、北洋銀行の内々定を獲得するまでは北ガス、ニトリ、セコマ、北ガスフレアストの選考を受けました。北ガスとニトリはどちらも 2 次面接で不合格、セコマは最終面接を辞退し、北ガスフレアストは内々定をいただきました。

北洋銀行の選考については、最初はエントリーシートより記載事項が少ない希望調査票のようなものを提出し、通過した後本格的なエントリーシートを提出しました。エントリーシートが通過すると 1 回目の面談があり、そこでは志望動機や自身についての質問が多く、硬い感じではなく世間話をするような感覚でよいと面接官の方おっしゃっていただき緊張せず臨めました。2 回目は SPI とパーソナル診断も行い、北洋銀行についての質問が多く前準備の情報収集とエントリーシートの内容について筋を通して話せば問題ないと考えます。3 回目は面接の日程決定時に大事な面接にしたいと考えている旨を伝えられ、内容は 1・2 回目のことをより詳細に入行後のビジョンを踏まえて話せば問題ないと考えます。そして、最後 4 回目はその場で内々定をいただき注意事項やその他説明などでした。面接回

数が人によって違いがある企業なので1度でどれだけ自分をアピールし面接官の方に興味を持ってもらえるかが肝心です。また、どの企業の面接でもそうでしたが元気に明るく自信を持った受け答えができるようにしておくといえます。面接は場慣れが絶対に必要なため志望度の低い企業やキャリア支援課で第一志望に向けた面接練習をしておくといえます。

次に、就職活動のために在学中にどのような取り組みをしたか学年ごとに記します。

まず1年次では、特に就職活動のために取り組んでいたことはありませんでしたが強いというのであればアルバイトで社会経験を積むこと、その中で自身の強み弱みを理解すること、卒論や卒検を免除できる方法（法学部なら法学検定試験スタンダード）があるのなら積極的に狙っていけるといえます。アルバイトはエントリーシートを書く際にも生きてきます。免除は就職活動が始まる際に就職活動に熱中できるからです。就職活動は思ったよりも精神や体力が削られるのでなるべく単位もしっかり取り切って熱中できる環境を自ら作ることができればよいといえます。

2年次でも、特に就職活動のために取り組んでいたことはありませんでしたが、自分のやりたいことを見つけ情報を集められるといえます。この時期に業界だけでも絞れているとインターンシップの候補を絞ることができるので時間を有効に使いやすくなると考えます。また、情報収集を早い時期から始めるとその分ほかの会社と比較して話すことができるので話す内容に厚みが出て、面接で頻出する「なぜ当社でなければならないのですか」という悩む質問にも答えやすくなると考えます。

私が本格的に就職活動に取り組み始めた3年次は、合同企業説明会へ行き、興味を持った企業のインターンシップに時間が許す限り参加していました。やはり、企業の方に直接お話を聞くことが最も早く正確な企業理解につながると考えます。また、何度もイベントに参加し、顔を覚えてもらえるとそれだけでも意欲がある学生としてみていただけるのでイベントの際も選考は始まっているという意識で取り組めるとよい結果が期待できると考えます。この時より良い印象を残すために、企業の方と話す際やグループワークなどの際にビジネスマナー講座は非常に役立ったと考えます。また、3年次末までにはエントリーシートを完成させておくといえます。

4年次はSPIや面接練習に励みました。今まで就職のために頑張ってきた時間を無駄にしないためにも本気で取り組みました。日ごろ人と話す際に言葉遣いに気を配り、エントリーシートもしっかり筋を通して話せるようインプットとアウトプットを繰り返しました。また、SPIの参考書も3～4週できると間違いなく通過できると考えますので1冊は買って置いて損はないでしょう。

この中でも特に、アルバイトや部活動、サークル活動のいずれかとインターンシップは必須級だと考えます。前者はエントリーシートにも記入でき、取り組んでいく中で自分自身を理解し強み弱みを見つけられます。また、わかりやすく実績を作ることもできます。役割や役職によっても責任感やリーダーシップなど自分自身のレベルアップにもつながります。

このほかには資格について勉強しておけばよかったと考えます。資格は持っているだけでアピールポイントになり、勉強の習慣も身につけることができ良い点しかありません。

最後にはなりますが、良い企業に務めるにはそれ相応の準備や努力することが絶対に必要です。いざ軽い気持ちで面接に挑むと、多くの学生を見てきている面接官は一瞬で見破ってきます。また、他の学生と差をつけることができるのもここです。自分自身就活を通して人として成長できた自身もありますし、胸を張って成功したといえます。就職は人生の中でも大きな選択であり、新卒のカードは非常に貴重です。せっかく大学に入ったのならば後悔の残らないように今のこの瞬間を全力で頑張り抜いてほしいと考えます。皆さんの成功を祈っております。